

## 1. 令和3年度事業報告

令和3年度の経営状況については、令和2年度から続く新型コロナウィルス感染症拡大の収束の兆しが見えない中、国や県による緊急事態宣言等の影響により、宿泊施設や空港ビル事業において収益が悪化したが、各事業においてウィズコロナという事業環境の変化にも的確に対応し、安心安全な運営を着実に進めた。

事業全体の当期一般正味財産は、土地開発事業及び立地促進事業において土地引き渡しを行ったこと等から、1,050百万円余の増加となった。

**【正味財産増減表抜粋】**

(単位：千円)

		収益計	費用計	他会計振替	当期一般正味財産増減額	正味財産期末残高
R3決算		17,028,922	15,978,547	-	1,050,376	10,311,245
公益目的事業	土地開発事業	8,565,604	8,126,934	-	438,670	5,733,799
	茨城空港旅客ターミナルビル事業	257,552	352,298	-	△ 94,747	△ 34,335
	園地整備・管理事業	17,059	117,500	414,742	314,301	176,423
	水道事業	1,318,059	1,318,059	-	△ 0	124,193
収益事業	宿泊施設・日帰り温泉施設事業	1,214,362	1,340,998	-	△ 126,637	520,989
	ビル管理事業	375,229	240,774	-	134,455	3,791,701
	立地促進事業	5,279,024	4,442,692	△ 564,742	271,590	141,299
法人会計		2,035	39,292	150,000	112,743	△ 142,823
内部取引等消去		-	-	-	-	-
R2決算		5,585,717	5,737,230	-	△ 151,513	11,171,434
H31 (R1) 決算		5,123,569	5,079,811	-	43,758	9,310,206

・収益計=経常収入+経常外収入。

・費用計=経常費用+経常外費用+法人税・住民税等。

・他会計振替=収益事業の利益のうち概ね1/2を公益目的事業に振り替えている。

・数値は、表示単位未満の数値を四捨五入したので、計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ）

※正味財産期末残高については、指定正味財産期末残高を含む。

※「茨城県独自の緊急事態宣言」（8/6～8/31）、「茨城県非常事態宣言」（8/16～9/20）、「国の緊急事態宣言」

（8/20～9/30）及び「国のまん延防止等重点措置」（1/27～3/21）を併せて『緊急事態宣言等』とする。

## ○事業別実績概要

### 【公益目的事業】

#### 1 土地開発事業

##### 【プロパー事業 団地処分等実績】

- ・南中郷工業団地において、3.9haの分譲契約を企業と締結。当該工業団地は全面積が立地済みとなつた。
- ・南中郷工業団地及び東筑波新治工業団地にて、リース売上げを計上した。
- ・南中郷工業団地及び茨城工業団地にて割賦（ファイナンスリース含む）売上げを計上した。
- ・稻敷工業団地において、令和5年12月の引き渡しに向け16.4haを造成中。

契約締結日	企業名等	面積	団地名	処分形態
R4.3.18	モリマーベストメント㈱	3.9ha	南中郷	新規
令和3年度計		3.9ha		

※プロパー団地については、全面積立地済み。稻敷1区画（3.9ha）については未取得。

##### 【公共事業 団地工事等実績】

- ・茨城県の所有する9団地等の、用地取得、造成工事の施行及び企業誘致に関する協力支援までの一連の業務を受託している。茨城中央工業団地（Ⅰ期・Ⅱ期・笠間地区）及び茨城空港テクノパークにおいて造成工事、道路改良舗装工事及び雨水・上水整備工事を実施したほか、各公共工業団地において除草等の管理を実施した。
- ・つくばみらい福岡地区において、茨城県企業局から土地造成業務を受託し、用地買収業務をつくばみらい市に再委託して行っているほか、開発にかかる測量・調査・設計を進めるとともに、造成工事に向けた準備を進めた。
- ・産業用地開発に係る可能性調査業務を茨城県から受託し、事業化調整を進める際の参考資料作成等を行った。

##### 【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R3決算	R2決算	前年比
団地処分面積	3.9	2.8	1.1
経常収益	8,565,604	2,689,067	5,876,536
経常費用	8,126,934	2,556,937	5,569,996
経常増減額 a	438,670	132,130	306,540
経常外収益	-	5,193	△ 5,193
経常外費用	-	5,503	△ 5,503
経常外増減額 b	-	△ 309	309
増減額計 a + b	438,670	131,821	306,849
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	438,670	131,821	306,849
一般正味財産期末残高	5,637,985	5,199,315	438,670
指定正味財産期末残高	95,814	97,601	△ 1,787
正味財産期末残高	5,733,799	5,296,916	436,882

※1 代替地処分に伴う売却益。

※2 代替地の減損損失及び固定資産除却損。

【プロパ－事業 団地簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和3年度 増減額 (減損・造成等)	令和3年度 簿価減少分 (原価)	令和3年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和3年度末 簿価残高	
南中郷	38,830m <sup>2</sup> <b>110,705千円</b>	- -	38,830m <sup>2</sup> <b>102,729千円</b>	285,304千円 <b>388,033千円</b>	- -	<b>7,976千円</b>	※1
茨城	55,687m <sup>2</sup> <b>657,050千円</b>	- -	- <b>27,588千円</b>	23,039千円 ※2 <b>50,628千円</b>	- -	55,687m <sup>2</sup> <b>629,461千円</b>	
稻敷	250,632m <sup>2</sup> <b>677,326千円</b>	<b>1,248,559千円</b>	- -	- -	- -	250,632m <sup>2</sup> <b>1,925,885千円</b>	
鉢田西部	689m <sup>2</sup> <b>13,035千円</b>	- -	- -	- -	- -	689m <sup>2</sup> <b>13,035千円</b>	※3
緒川	3,013m <sup>2</sup> <b>2,139千円</b>	- -	- -	- -	- -	3,013m <sup>2</sup> <b>2,139千円</b>	※3
砂沼サンビーチ 跡地整備	- -	<b>1,073千円</b>	- -	- -	- -	- <b>1,073千円</b>	※4
合 計	348,851m <sup>2</sup> <b>1,460,254千円</b>	- <b>1,249,632千円</b>	38,830m <sup>2</sup> <b>130,317千円</b>	308,343千円 <b>438,660千円</b>	- -	310,021m <sup>2</sup> <b>2,579,568千円</b>	

※1 南中郷工業団地の簿価は、割賦残額分。

※2 茨城工業団地の事業用定期借地契約の売上については、ファイナンスリースとして当期受取賃貸料ではなく土地売却収益に計上している。（簿価残は年度末残高に含まれている。）

※3 仮登記を本登記にできない分について手続き中であり、完了後に県に売却予定。

※4 人件費等の配賦額についてのみ計上しており、既存施設の撤去・造成に必要な調査費用等は法人会計の建設仮勘定に計上している。

## 2 茨城空港旅客ターミナルビル事業

- ・令和2年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症の影響により、国際線の全便運休が継続しているほか、国内線についても一部運休、減便が発生したものの、航空会社による特別運賃キャンペーンの実施や、チャーター便、遊覧飛行の運航などにより、搭乗者数は令和2年度対比で約7万人増の約28万人となった。
- ・搭乗者と見学者を合わせた来場者数は、新型コロナウィルス感染者数の一時減少や、行動制限緩和によるマインドの改善等に伴い、令和2年度対比で約16万人増の約67万人となった。
- ・来場者に安心して空港を利用いただけるよう、新型コロナウィルス感染症対策に係る国の補助事業を活用し、館内トイレへのハンドディスペンサーの設置及び職員用トイレの手洗い自動水栓化を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を継続して実施した。（サーモカメラ等による検温、消毒液の設置、定期的な消毒作業、飲食スペースでのアクリルパーテーション設置、座席の間引きによるソーシャルディスタンスの確保等。）
- ・コンビニ店舗等のテナント誘致に向けて積極的な営業活動を行い、2事業者（セイコーマート、コロナ検査センター）を誘致した。（セイコーマート：3/10入居、コロナ検査センター：3/28入居）
- ・修繕計画に基づき、エスカレーター駆動部分修理工事、監視カメラ更新工事及び入退室監視システム更新工事等を行った。
- ・更なる集客促進を図るため、県や小美玉市との共催によりイベント等を開催した。なお、開催にあたっては、入場者の手指消毒やマスク着用などの感染防止対策を実施した。

【正味財産増減表】

(単位：人・千円)

	R3決算	R2決算	前年比
来 場 者 数	※1 673, 400	514, 900	158, 500
経 常 収 益	257, 552	271, 533	△ 13, 982
経 常 費 用	352, 298	359, 903	△ 7, 605
経 常 増 減 額 a	△ 94, 747	△ 88, 370	△ 6, 377
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	-	※2 0	△ 0
経 常 外 増 減 額 b	-	△ 0	0
増 減 額 計 a + b	△ 94, 747	△ 88, 370	△ 6, 377
他 会 計 振 替	-	-	-
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 94, 747	△ 88, 370	△ 6, 377
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 97, 361	△ 2, 614	△ 94, 747
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	63, 025	70, 550	△ 7, 524
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 34, 335	67, 936	△ 102, 271

※1 来場者数=見学者数+搭乗者数。

※2 固定資産除却損。

### 3 園地整備・管理事業

#### 【涸沼園地】

- ・緊急事態宣言等に伴う対応として、8月6日～9月30日の期間、営業休止等を行った。プール営業についても、令和2年度に引き続き全面休止とした。
- ・いこいの村涸沼主催のグラウンド・ゴルフ大会を定期的に開催した。（年10回、参加者693名）
- ・茨城県グラウンド・ゴルフ協会に協賛し、6月にレディース大会、10月に協会35周年大会をそれぞれ実施した。（参加者1,232名）
- ・茨城県ターゲット・バードゴルフ協会に協賛し、4月に北関東大会、7月にいこいの村涸沼記念大会をそれぞれ実施した。（参加者177名）
- ・いこいの村涸沼主催のスポーツウェルネス吹矢大会を11月に実施し、併せて協会認定研修所としてのPRにも努めた。（参加者45名）
- ・ラムサール条約登録湿地である涸沼において、7月と8月に涸沼ビオトーププロジェクト自然観察会、12月と1月に冬の探鳥会、2月に野鳥観察会をそれぞれ実施した。（参加者134名）

#### 【伊師浜国民休養地】

- ・6月と2月にノルディック・ウォーキング体験会を実施した。（参加者45名）
- ・新型コロナウィルス感染症対策のため、夏前に予定していたホタル観賞会については中止としたが、宿泊客を対象に羽化時期の案内を行い、各自鑑賞する形式として開催した。また、11月に開催予定であった鶴の岬秋まつりを中止とした。（3年連続で中止）
- ・11月に自然観察会、3月に野鳥観察会をそれぞれ実施した。（参加者99名）
- ・休養地内の環境維持のため、枯松伐採及びスイレン池のウッドデッキ修繕工事を行った。

#### 【正味財産増減表】

(単位：人・千円)

	R3決算	R2決算	前年比
グラウンド・ゴルフ人數	※1 11,013	※1 11,156	△ 143
プール入場者数	0	0	0
パターゴルフ人數	1,238	785	453
スポーツプラザ人數	1,223	930	293
多目的広場人數	2,548	1,400	1,148
経常収益	17,059	17,115	△ 56
経常費用	117,110	113,207	3,903
経常増減額a	△ 100,051	△ 96,092	△ 3,959
経常外収益	-	-	-
経常外費用	※2 390	744	△ 354
経常外増減額b	△ 390	△ 744	354
増減額計a+b	△ 100,441	△ 96,836	△ 3,605
他会計振替	414,742	-	414,742
当期一般正味財産増減額	314,301	△ 96,836	411,137
一般正味財産期末残高	172,455	△ 141,847	314,301
指定正味財産期末残高	3,968	4,791	△ 823
正味財産期末残高	176,423	△ 137,056	313,479

※1 利用人数については涸沼園地のみ集計。

※2 固定資産除却損。

## 4 水道事業

### 【浄水場の運転管理等業務】

- ・県企業局所管の10浄水場における運転管理業務を実施した。
- ・年1回、管路に設置された弁類の点検等を実施したほか、毎月2回、管路の全ルート巡視を実施した。
- ・県企業局水質管理センター及び2浄水場にて水質管理・検査業務を実施した。
- ・新型コロナウィルス感染症対策として、新しい生活様式を実践し、オンライン会議の開催、勤務体制変更や感染者発生時の一時的な在宅勤務の導入等を進めた。また、マスクや消毒用品の確保等を行うことにより、社内での感染拡大防止に努めた。
- ・霞ヶ浦浄水場における「新しい浄水処理技術の実験」に参加し、実験データの取り纏めを行った。
- ・那珂川浄水場における維持管理委託業務の設計積算・監督業務等を行った。
- ・常陸大宮市において、市協力の下、漏水検知センサーの実証実験を㈱日立製作所と共同で行った。

### 【水道工事監督補助業務】

- ・一時的な在宅勤務導入等、新型コロナウィルス感染症対策に努めながら、県企業局管路更新（耐震化）事業における監督業務及び関係機関調整支援を行った。

### 【水道普及促進・啓発事業】

- ・水海道浄水場、鹿島浄水場及び霞ヶ浦浄水場（実験施設）の高度浄水処理水を使用した水道水ボトルドウォーター3万本をイベント等に使用するため製造した。
- ・今年度参加を計画していた市町村主催のイベントは、感染拡大防止のためすべて中止となった。  
また、水道出前教室と親子水道教室も開催中止とした。
- ・11月に市町村水道事業担当者研修会を開催した。なお、研修会は対面とオンライン方式、どちらでも参加できる開催方法とした。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R3決算	R2決算 ※1
経 常 収 益	1,318,059	1,022,168
経 常 費 用	1,318,059	1,022,168
経 常 増 減 額 a	—	—
経 常 外 収 益	—	—
経 常 外 費 用	0	—
経 常 外 増 減 額 b	△ 0	—
増 減 額 計 a + b	△ 0	—
他 会 計 振 替	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 0	—
一般正味財産期末残高	94,193	94,193
指定正味財産期末残高	30,000	30,000
正味財産期末残高	124,193	124,193

<参考> (単位：千円)

旧企業公社R2決算数值合算(R2年4月～R3年3月)
1,430,288
1,430,218
70
—
0
△ 0
70

※1 R2決算については、R2年7月合併時から（第2四半期以降）の実績。第1四半期分は企業公社決算として報告。

## 【収益事業】

### 1 宿泊施設事業

【宿泊施設事業の合計正味財産増減表】

・国民宿舎「鵜の岬」と、いこいの村潤沼の数値を合算している。

(単位：人・千円)

	宿泊者数	収益計	費用計	増減額計	他会計振替	正味財産期末残高
R3決算	56,861	1,016,772	1,143,298	△ 126,526	-	508,110
R2実績	51,960	994,419	1,137,781	△ 143,362	-	634,042
増減	4,901	22,354	5,517	16,836	-	△ 125,932

#### (1) 国民宿舎「鵜の岬」事業

##### ○新型コロナウィルス感染症対策関連

- ・緊急事態宣言等に係る対応として、8月6日～9月30日までの期間、宿泊及び日帰り会食等の新規予約受付を中止した。既予約者に対しては、夕食会場を時間短縮するとともに、酒類の提供を停止する等の措置をしながら営業を行った。なお、レストランのランチタイム営業及び喫茶営業は中止とした。
- ・緊急事態宣言等に伴い、8月に11日間、9月に21日間、計32日間を全館休館とした。
- ・サーモカメラ等を設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。  
(フロント・喫茶カウンター及びレストラン等に、飛沫防止のアクリル板を設置。)
- ・休館や利用者数減少に伴う従業員への休業手当支給に際し、雇用調整助成金を活用した。

##### ○イベント関連

- ・6月に日立市発祥のスポーツであるパンポン体験会を実施した。
- ・7月に組紐ストラップ作り体験会、切り絵体験会をそれぞれ実施した。(参加者21名)
- ・8月にテーブル茶道体験会、和菓子練り切り体験会を実施した。(参加者13名)
- ・2月にうどん打ち体験会を実施した。(参加者6名)
- ・日立市及び鵜来来の湯十王と合同で、伊師浜海水浴場のビーチクリーンを実施した。

##### ○営業活動関係

- ・集客アップを図るため、4月に公式インスタグラムを開設した。(フォロワー数 約1,300名)
- ・7月に国民宿舎協会による宿泊利用率の発表があり、32年連続で日本一となった。
- ・茨城県より「サイクリストにやさしい宿」に認定された。
- ・「いば旅あんしん割」へ参画し、収益の向上を図った。(利用者8,123名、補助金額約5,734万円)
- ・9月6日、7日の2日間休館し、法定点検等を行った。また、1月17日～1月21日まで5日間休館し、7階客室の一部改修工事及び法定点検等を行った。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R3決算	R2決算	前年比
営業日数	※1 326	325	1
宿泊定員利用率	62.5%	63.6%	△ 1.1P
宿泊人数	40,909	39,867	1,042
その他利用者数	※2 48,630	※2 43,898	4,732
経常収益	747,551	774,789	△ 27,238
経常費用	816,237	821,189	△ 4,953
経常増減額a	△ 68,686	△ 46,401	△ 22,285
経常外収益	-	※3 9,797	△ 9,797
経常外費用	※4 743	0	743
経常外増減額b	△ 743	9,797	△ 10,540
増減額計a+b	△ 69,429	△ 36,604	△ 32,825
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	※5 △ 69,484	※5 △ 36,659	△ 32,825
一般正味財産期末残高	506,204	575,688	△ 69,484
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	506,204	575,688	△ 69,484

※1 休館合計39日（臨時休館32日、法定点検等休館7日）。

※2 日帰り宴会、昼食、会議、喫茶利用者の合計。 ※3 原発賠償金 9,797千円（R2年度で終了）。

※4 固定資産除却損。 ※5 法人住民税56千円差引き後。

## (2) いこいの村涸沼事業

### ○新型コロナウィルス感染症対策関連

- ・緊急事態宣言等に係る対応として、8月6日～9月30日までの期間、宿泊及び日帰り会食等の新規予約受付を中止した。既予約者に対しては、夕食会場を時間短縮するとともに、酒類の提供を停止する等の措置をしながら営業を行った。なお、レストランのランチタイム営業、グラウンドゴルフ等のアクティビティの営業及び日帰り温泉の営業は中止とした。（レストランのランチタイムについては、テイクアウトにて対応した。）
- ・緊急事態宣言等に伴い、8月に9日間、9月に17日間、計26日間を全館休館とした。
- ・サーモカメラ等を設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。（フロント・喫茶カウンター及びレストラン会計窓口に、飛沫防止のアクリル板を設置。）
- ・休館や利用者数減少に伴う従業員への休業手当支給に際し、雇用調整助成金を活用した。
- ・茨城県宿泊事業者感染対策支援事業費補助金を利用し、レストランへ大型空気清浄機2機を設置。  
また、客室の畳を抗菌畳へ表替えした。（補助金額198万円）

### ○イベント関連

- ・地元鉢田産のメロン（5月～6月）、スイカ（7月～8月）、焼き芋（10月～11月）を宿泊者限定で提供した。
- ・夏季期間（令和3年7月22日から8月29日まで）の宿泊客に対し、花火のプレゼントと敷地内を利用した家族参加型謎解きイベントを開催した。
- ・第21回涸沼環境フォーラムに協賛し、「クリーンアップひぬまネットワーク水質浄化活動功労者」を受賞した。

### ○営業活動関係

- ・集客アップを図るため、6月に公式インスタグラムを開設した。（フォロワー数 約1,000名）
- ・効率的な運営を図るため、利用者の少ない日に計78日間の計画休館日を設けた。
- ・4月より日帰り温泉の営業を再開した。
- ・茨城県より「サイクリストにやさしい宿」に認定された。
- ・7月よりキャンプ場「HINUMA BASE」をオープンした。（利用者525名）
- ・キャンプ事業の準備に鉢田市中小企業等ビジネスモデル転換事業補助金を利用した。（補助金額78万円）
- ・「いば旅あんしん割」へ参画し、収益の向上を図った。（利用者4,225名、補助金額2,831万円）
- ・3階客室におけるWi-Fi環境整備のため、茨城県宿泊事業者感染対策支援事業費補助金を利用し、中継器設置工事を行った。
- ・6月28日、9月13日～15日、12月21日の5日間休館し、法定点検等を行った。

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R3決算	R2決算	前年比
営業日数	※1 256	244	12
宿泊定員利用率	45.8%	36.4%	9.4P
宿泊人数	15,952	12,093	3,859
その他利用者数	※2 17,260	※2 11,960	5,300
経常収益	269,221	206,581	62,640
経常費用	325,446	316,554	8,893
経常増減額a	△ 56,225	△ 109,973	53,748
経常外収益	-	3,252	△ 3,252
経常外費用	※4 872	38	835
経常外増減額b	△ 872	3,214	△ 4,087
増減額計a+b	△ 57,097	△ 106,759	49,661
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 57,153	△ 106,814	49,661
一般正味財産期末残高	※5 1,000	※5 58,153	△ 57,153
指定正味財産期末残高	905	200	705
正味財産期末残高	1,906	58,353	△ 56,448

※1 休館合計109日（臨時休館26日、計画休館78日、法定点検等休館5日）。

※2 日帰り宴会、昼食、会議、キャンプ場利用者の合計。※3 原発賠償金 3,252千円（R2年度で終了）。

※4 固定資産除却損。※5 法人住民税56千円差引き後。

## 2 日帰り温泉施設事業(日立市鵜来来の湯十王)

### ○新型コロナウィルス感染症対策関連

- ・緊急事態宣言等に伴い、令和3年8月6日～9月30日までの56日間を臨時休館とした。
- ・サーモカメラ等を設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。

### ○イベント関連

- ・風呂の日（毎月26日）、正月（1月2日、3日）の利用者へ粗品配布を行った。
- ・日立市及び鵜の岬と合同で、伊師浜海水浴場のビーチクリーンを実施した。

### ○営業活動関係

- ・日立市より令和4年度から5年間の指定管理者の指定を受けた。
- ・10月より公式SNS（Instagram・Twitter）の配信を開始した。（フォロワーInstagram 212名、Twitter 93名）
- ・65歳以上を対象とした平日シルバー割引を継続し、利用の拡大を図った。
- ・7月より食事のみの利用を開始した。（入館料免除）
- ・夏休み期間中の利用促進策として、週末（金・土）の営業時間を1時間延長した。また、メンズデー（木曜日）、レディースデー（金曜日）を設定し入館料割引を行った。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R3決算	R2決算	前年比
営業日数	※1 286	243	43
利用者数	86,360	62,622	23,738
経常収益	197,589	187,766	9,824
経常費用	197,589	187,764	9,825
経常増減額a	0	2	△ 2
経常外収益	—	—	—
経常外費用	—	—	—
経常外増減額b	—	—	—
増減額計a+b	0	2	△ 2
他会計振替	—	—	—
当期一般正味財産増減額	0	2	△ 2
一般正味財産期末残高	12,880	12,879	0
指定正味財産期末残高	—	—	—
正味財産期末残高	12,880	12,879	0

※1 休館合計79日(臨時休館56日、定期休館23日)。

### 3 ビル管理事業

#### ○新型コロナウィルス感染症対策関連

- ・公社ビル各出入口5箇所にサーモカメラ等を設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を行った。  
(受付、演台及び司会台へ飛沫防止のアクリル板設置、共用部への消毒液設置、利用者への非接触体温計の貸出)

#### ○営業活動関係

- ・テナント2件（うち1件は期間限定）の退去、3件の入居があった。
- ・空室対策として、ホームページのテナント募集ページを見直し、発信情報を充実させた。（入居メソット記載及び写真・図面の添付等）
- ・利用者の利便性向上と事務の効率化を図るため、会議室Web予約システムを構築した。
- ・4階大会議室および地下駐車場の照明をLED化し、電気料・保守費用の削減を図った。
- ・公社ビル屋上サインを利用者に親しみやすいデザインに更新した。
- ・ビル利用者の利便性向上及び安心安全な施設の維持管理のため、1階アトリウムトップライト上部遮熱シート設置や消防設備改修及び給水設備更新工事等を行った。
- ・電力需給契約の見直しを7月に行い、年間約500万円の費用を削減した。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R3決算	R2決算	前年比
公 社 ビ ル 入 居 率	※1 93.8%	91.8%	2.0P
会 議 室 稼 働 率	※2 35.8%	18.5%	17.3P
経 常 収 益	375,229	396,745	△ 21,516
経 常 費 用	240,556	282,432	△ 41,876
経 常 増 減 額 a	134,673	114,313	20,360
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	※3 147	839	△ 692
経 常 外 増 減 額 b	△ 147	△ 839	692
増 減 額 計 a + b	134,526	113,474	21,052
他 会 計 振 替	-	※4 △ 10,000	10,000
当期一般正味財産増減額	134,455	103,403	31,052
一般 正味財産期末残高	※5 3,791,650	3,657,195	134,455
指定 正味財産期末残高	51	64	△ 13
正味財産期末残高	3,791,701	3,657,259	134,442

※1 公社ビル入居率は面積ベースで年度末数値（全42室中、39室入居中）。

※2 会議室の稼働率は、午前・午後・夜間で算出。

※3 固定資産除却損。

※4 10,000千円を、法人会計の運転資金として振り替えた。

※5 法人住民税71千円差引き後。

## 4 立地促進事業

- ・つくば明野北部工業団地拡張②（猫島地区）においては、造成が完了し、令和3年6月に企業への引き渡しを行った。
- ・つくば明野北部工業団地拡張③（田宿地区拡張）においては、造成工事に向け積算業務等を実施した。また、同地区において令和4年3月に開発許可を取得した。

【正味財産増減表】

(単位 : ha・千円)

	R3決算	R2決算	前年比
団 地 処 分 面 積	23.0	-	23.0
経 常 収 益	5,279,024	9	5,279,015
経 常 費 用	4,442,692	27,970	4,414,722
経 常 増 減 額 a	836,332	△ 27,961	864,293
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	-	-	-
経 常 外 増 減 額 b	-	-	-
増 減 額 計 a + b	836,332	△ 27,961	864,293
他 計 振 替	△ 564,742	-	△ 564,742
当期一般正味財産増減額	271,590	△ 27,961	299,551
一般正味財産期末残高	141,299	△ 130,291	271,590
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	141,299	△ 130,291	271,590

【収益・立地促進事業簿価】

	前期繰越額 (簿価)	令和3年度 増減額 (減損・造成等)	令和3年度 簿価減少分 (原価)	令和3年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和3年度末 簿価残高
つくば明野北部 拡張②	244,106m <sup>2</sup> 3,909,130千円	- 510,666千円	229,534m <sup>2</sup> 4,419,797千円	859,203千円 5,279,000千円	△14,572m <sup>2</sup> -	- -
つくば明野北部 拡張③	40,871m <sup>2</sup> 340,249千円	5,038m <sup>2</sup> 86,274千円	- -	- -	- -	45,909m <sup>2</sup> 426,523千円
合 計	284,977m <sup>2</sup> 4,249,379千円	5,038m <sup>2</sup> 596,940千円	229,534m <sup>2</sup> 4,419,797千円	859,203千円 5,279,000千円	△14,572m <sup>2</sup> -	45,909m <sup>2</sup> 426,523千円

## 【法人会計】

- ・管理業務に関する収益・費用や、その他の法人全般に係る、公益目的事業・収益事業に区分できないものを表示する。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R3決算	R2決算	前年比
経 常 収 益	2,035	1,700	334
経 常 費 用	39,292	41,800	△ 2,508
経 常 増 減 額 a	△ 37,257	△ 40,099	2,842
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	-	-	-
経 常 外 増 減 額 b	-	-	-
増 減 額 計 a + b	△ 37,257	△ 40,099	2,842
他 会 計 振 替	150,000	10,000	140,000
当期一般正味財産増減額	112,743	△ 30,099	142,842
一般 正味財産期末残高	△ 146,307	△ 259,050	112,743
指定 正味財産期末残高	※1 3,484	※1 4,645	△ 1,161
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 142,823	△ 254,405	111,581

※1 ソーラー街路灯設置補助金。

## ○その他受託事業の実績

受託事業の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

委託者	受 託 事 業 名	事業	受 託 額	受 託 内 容
茨 城 県	茨城空港駐車場管理	空港	18,123	監視カメラ・放送設備による駐車場の誘導案内及び巡回警備等
	駐車場整理等		4,843	
	茨城空港公園トイレ管理		1,150	空港公園のトイレ管理
	公園事業地管理		9,008	空港公園の管理
	伊師浜国民休養地	園地	9,686	休養地内及び施設設備の維持管理
	水道工事監督補助	水道	43,641	水道工事監督補助業務
	水道啓発		4,268	企業局水道普及啓発業務
	浄水場運転管理		1,268,179	浄水場運転管理業務等
日立市	日立市鶴来来の湯十王管理	温泉	197,589	温泉施設の管理運営
合 計			1,556,487	

## ○資金の借入れ状況

借入金の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前 年 度 繰 越 金	期 中 借 入 増 減 額	令 和 3 年 度 末 残 高
茨城空港旅客ターミナルビル事業 (長期・一年内返済茨城県無利子借入金合算)	2,176,925	△ 167,547	2,009,378
立地促進事業 (市中金融機関借入金)	2,150,000	△ 1,750,000	400,000
合 計	4,326,925	△ 1,917,547	2,409,378